

# 検査センター トピックス

第113号 R2.5

新しい

腎障害の高感度バイオマーカー

## L-FABP (尿中L型脂肪酸結合蛋白)

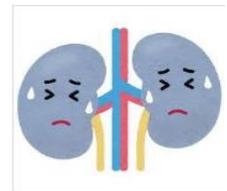
【測定対象】

eGFR $\geq$ 60 の継続的に治療を受けている**糖尿病患者**  
**糸球体腎炎**などの**慢性腎臓病**が疑われてる患者



近位尿細管障害が起こりうる疾患が対象

『尿細管機能障害を伴う腎疾患』の早期診断に有用  
腎組織障害の進行前、蛋白尿出現以前から上昇  
急性腎障害 (AKI) でも有意に上昇



検査項目名	尿中L型脂肪酸結合蛋白 (L-FABP)
材料・検体量	尿 0.3mL
検査方法	LA法 (ラテックス凝集比濁法)
基準値	8.4 以下 $\mu\text{g/g}\cdot\text{Cr}$
所要日数	3~4日
検査実施料	210点 (D001「19」)
判断料	34点 (尿・便)
*算定留意事項	「尿中 NGAL」と「尿中 L-FABP」を併せて実施した場合には、主たるもののみ算定。原則として、3ヵ月に1回限り算定。 ただし、医学的な必要性からそれ以上算定する場合は、その詳細な理由を診療報酬明細書の摘要欄にご記入ください。